

100mm

A



## 長岡京市の財政

今、しっかりと考えなければ、  
将来、本当に厳しい財政状況になる。  
子ども達に責任を押し付けない政治を!!

代表

最年少長岡京市議会議員

# 富田達也

100mm

B

## 市政報告会を開催します!



## みなさんの声を聞かせて下さい!!

12月19日(土) 19:30~  
バンビオ4階 学習室1

- ① 2年間の総括・市政報告
- ② 意見交換

【発行者】ディスカッション!長岡京!!

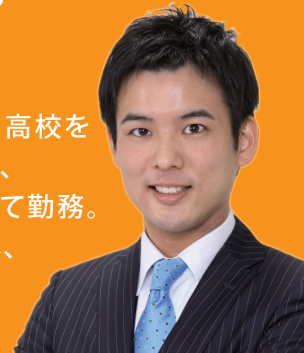
住所:長岡京市花山1丁目54番地

連絡先:070-5503-0011

メール:tommytatsu@gmail.com

【代表】富田達也

地元の幼稚園・小学校・中学校・高校を卒業。龍谷大学法学部を卒業後、司法書士事務所にて営業職として勤務。政治家一本を目指すため退職し、現在最年少長岡京市議会議員。



97mm (内側に折り込む面) C

## 代表所感(会派について)

臨時議会(10月23日)において、議長・副議長・各常任委員会委員等について改選が行われました。議長には平成西山クラブの上村真造氏、副議長には共産党の浜野利夫氏が就任し、任期は2年間です。また、会派についても2年前の選挙時から大きく変わりました。変更点として、『平成自由クラブ』(一人会派としては存続しています)、『ほうれんそうの会』が無くなり、『平成西山クラブ』が市議会議員補欠選挙後に誕生しました。

議会は会派主義で運営されているため、会派に属していないと議会活動において、議会運営委員会に出席できない、総括質疑(最大2回/年、30分/回)ができない等、『若干』の制約を受けます。しかし、資料請求権や討論等は会派に属していなくても行なうことができます。もちろん会派に属せば議会で全ての権利を行使できるためできる限り会派に属すべきだとは思いますが、会派に属していないから議会活動を満足にできないということは一切ありません。ですので、私は当初の主義主張を変えてまで会派に属すべきではないと判断致しました。

### 会派一覧

※略称記載 議席番号順 系統は選挙等で独自判断

<b>自民・保守系</b> 平成市民クラブ 三木常照 中小路貴司 岩城一夫 平成同志クラブ 白石多津子 田村直義 藤井俊一 平成西山クラブ 近藤麻衣子 上村真造	<b>共産党</b> 藤本秀延 小原明大 武山彩子 野坂京子 住田初恵 浜野利夫	<b>連合系</b> <b>民主フォーラム</b> 綿谷正巳 進藤裕之 大伴雅章
<b>会派に属しない</b> <b>富田達也</b> <small>(無党派・無所属)</small> 八木浩	<b>公明党</b> 石井啓子 福島和人 山本智	<small>※ 会派とは政党ではなく、主義・主張を同じくする政策集団です。</small>



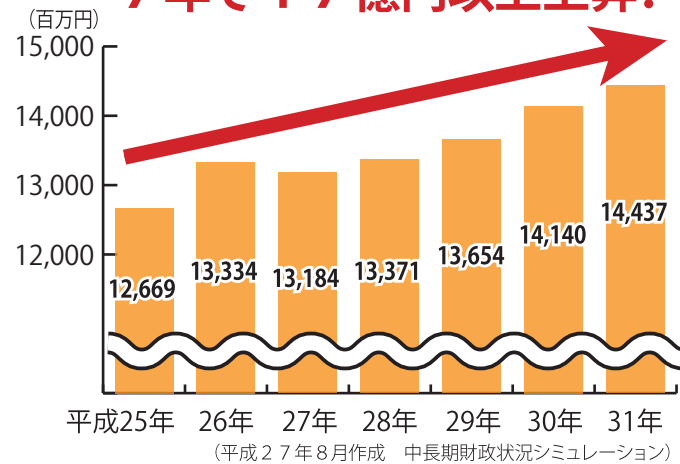
# DISCUSSION 議論しよう!!

## 財政状況シミュレーション

長岡京市の財政状況は、5年連続で財政調整基金(貯金)の取り崩しは無く、厳しい経済状況の中、健全な財政運営がなされています。しかし、超少子高齢社会を迎えるにあたって、今後はより取捨選択を迫られる財政状況になると思われます。5年後の財政状況のうち、**市が任意に削減できない経費(義務的経費)**。人件費、公債費、扶助費等)を表したものが下記のグラフです。また、社会保障制度の一環として、生活困窮者、高齢者、児童、心身障害者等に対して行っている様々な支援に要する経費のことを扶助費と言います。

### 本市の義務的経費シミュレーション

7年で17億円以上上昇!

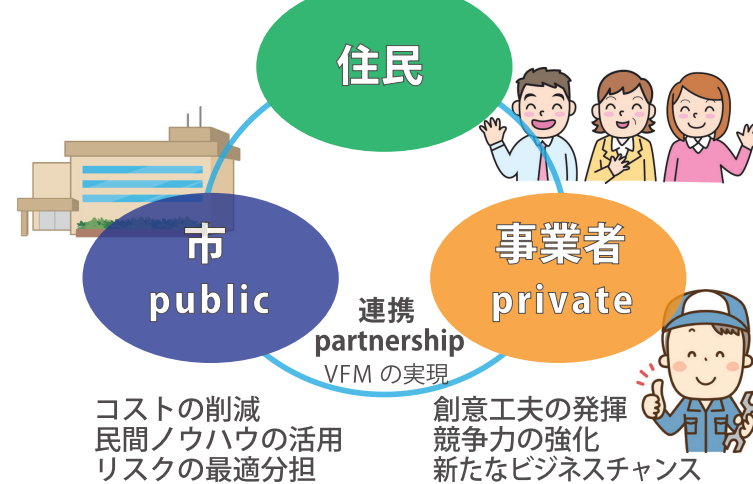


義務的経費は、グラフの通り7年で17億円以上も上昇し、今後の財政はより厳しいものになると予想されます。逆に**短期的には終わらず固定的な資本の形成に向けられる投資的経費は、平成27年が38億円であるのに対して平成31年には9億円まで減少が予想されます。**本市は2030年頃に高齢人口がピークになるため、それまで義務的経費は増加し続けるものだと予想されます。『今年実施した事業だから来年も』と、簡単には継続できなくなる可能性もあります。将来の世代に負担を押し付けないために、経費の削減・新たな財源の確保に取り組まなければなりません。

## PPP (官民連携)

### PPP (官民連携) とは

良質で快適な公共サービスの享受



厳しい財政状況の中、多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応し、市民の皆さんにとって、より満足の得られる公共サービスの提供を目指す新たなシステムとして、PPP (パブリック・プライベート・パートナーシップ:官民連携)の導入を9月議会の一般質問にて提言致しました。地域に根ざした民力(市民・自治会・NPO・企業など)と行政が相互に連携し、市に必要な公共サービスを効率的・効果的に提供することにより、長岡京市の個性を活かした豊かで活力あるまちづくりを進めることが可能です。本市においても公共施設の建て替え時期が迫っています。超少子高齢社会を迎えた今、公共施設の建て替え費用・計画を全て市が負担・運営するというのではなく、少しでも公費負担を軽減し、公共施設内に民間施設を導入する等、民間資金の活用、及び、民間が持っているノウハウの活用を図っていかねばなりません。

現在、財政調整基金(貯金)はある

しかし

近い将来には財政が非常に厳しい!!

先進事例として岩手県紫波町の『オガールプロジェクト』があります。オガールプロジェクト以前にも「公共施設」と「民間施設」を一緒に建てる開発は行われていますが、『成功している』と呼べるものはあまりありません。それは、公共施設開発の手法を用いて、民間施設を一緒に建てるということをしているだけだからです(基準が公共側にある。)。今回取り上げた官民連携による施設開発というのは、返済計画に基づいて計画を作成し、市場の厳しいチェックを受けた計画のみが実施されるという点がこれまでの施設開発とは異なります。つまり簡単に言うと、**公共施設整備において『民間基準』を導入しよう**ということです。

行政だけの開発は限界がある 財政状況は今後厳しくなる一方

だから

民間の資金・ノウハウが必要!

本市は『(仮称)長岡京市中心市街地整備リーディングプロジェクト』と題し、公共施設等総合管理計画の策定を契機として、現庁舎(耐震不適格・老朽化・狭隘化等)の建て替えについて、未着手である中心市街地整備(阪急長岡天神駅周辺)の起爆剤的リーディングプロジェクトと位置付け、民間活力導入により、他の公共施設の再編計画と合わせて、中心部の活性化、公共施設の再編を進める計画づくりに着手しました。この計画はまだまだ計画策定段階ですが、市役所庁舎の建て替え、そして将来的には阪急長岡天神駅周辺再整備へと進む計画です。周辺整備が訴えられてから数十年経ち、できる限り早期に計画の実施につなげたいと思っています。しかし、その結果が実のあるものになるためにも計画づくりが一番大事であり、計画が実行された時に、市民の皆さんが良質で快適なサービスが受けられるように、しっかりと検討をしていかなければなりません。

早期の計画策定 将来を見越した計画 が、必要!